

2015年7月2日
イオン北海道株式会社
株式会社ダイエー
マックスバリュ北海道株式会社

北海道のイオングループより札幌市へ寄付金を贈呈します。

「創造都市さっぽろWAON」のご利用金額の一部及び
「レジ袋の収益金」の寄付金総額317万3,477円を贈呈します。

北海道のイオングループ3社は、7月7日（火）に「創造都市さっぽろWAON」のご利用金額の一部とレジ袋の無料配布中止に伴う有料レジ袋の収益金を札幌市へ贈呈させていただきますのでご案内申し上げます。

札幌市とイオン株式会社は、双方が持つ資源を有効に活用し、産官相互の連携と協力を基盤に、札幌市のより一層の発展と飛躍を目指したまちづくりに取り組むことを目的に、2014年1月に「さっぽろまちづくりパートナー協定」を締結しております。その取組みの第一弾として、「創造都市さっぽろWAON」を2014年3月に発行しました。このカードをイオングループの各店舗とWAON加盟店でご利用いただくことにより、その利用金額の一部（0.1%）が札幌市に寄付され文化芸術振興に役立てられます。

また、2009年からレジ袋無料配布の中止に伴うレジ袋収益金を、店舗が所在する地方自治体などを通じて環境保全活動に役立てていただいています。

「創造都市さっぽろWAON」寄付金総額は、皆さまにご愛顧いただいた結果、267万160円となりました。この寄付金の一部は、7月12日（日）から開催する札幌の夏を彩る音楽イベント「PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）」や札幌市の全小学校6年生を札幌コンサートホールに招待する「Kitaraファースト・コンサート」などに活用されます。また、レジ袋の収益金の寄付金総額は50万3,317円となりました。

イオンは、今後ともお客さまに便利にご利用いただけるWAONを通じて、PMFなど様々な地域貢献活動の支援を積極的に推進してまいります。また、買物袋持参運動を通じて、お客さまとともに環境保全活動と社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

記

日	時：	2015年7月7日（火）10：00～10：20	
場	所：	札幌市役所10階市長会議室	
出	席	者：	札幌市長
			秋元 克広
		イオン北海道株式会社	代表取締役社長 星野 三郎
		株式会社ダイエー	エリア政策推進チームリーダー 佐々木 浩
		マックスバリュ北海道株式会社	代表取締役社長 出戸 信成

◆創造都市さっぽろWAON贈呈について

贈呈先：	札幌市（文化芸術振興基金）	
贈呈金額対象期間：	2014年3月1日～2015年2月28日	
贈呈金額：	イオン北海道株式会社	1,733,540円
	株式会社ダイエー	41,931円
	マックスバリュ北海道株式会社	894,689円
	合計	2,670,160円

◆レジ袋収益金の贈呈について

贈呈先:	札幌市(さぽーとほっと基金)	
贈呈金額対象期間:	2014年3月1日~2015年2月28日	
贈呈金額:	イオン北海道株式会社	12,846円
	株式会社ダイエー	354,185円
	マックスバリュ北海道株式会社	136,286円
	合計	503,317円

※札幌市内店舗のレジ袋収益金の合計となります。

《本件に関するお問い合わせ先》

イオン北海道(株) 広報・環境社会貢献部 高嶋・佐藤 電話:011-865-9111

《ご参考までに》

【創造都市さっぽろWAONの概要】

発行開始:2014年3月1日(土)

発行手数料:300円

チャージ可能金額:上限5万円

(一回あたりのチャージ金額は2万9千円)

販売場所:イオン、ダイエー、マックスバリュ、ザ・ビッグ、イオンスーパーセンター等全国のイオングループ店舗で販売しています。

※一部、取り扱いのない店舗がございます。

発行枚数:約4万枚(2015年5月末現在)



【レジ袋の無料配布中止に伴う有料レジ袋の収益金について】

イオングループでは、レジ袋の原料である石油資源の節約やレジ袋生産時のCO2排出量削減のために、買物袋持参運動に取り組んでおります。2008年6月より苫小牧市と倶知安町で食品レジ袋の無料配布中止の取組みを開始し、現在イオン北海道株式会社32店舗、マックスバリュ北海道株式会社73店舗、株式会社ダイエー16店舗の、道内計121店舗で食品レジ袋の無料配布中止を実施しております。そして、レジ袋無料配布の中止に伴うレジ袋収益金は、店舗が所在する地方自治体や地域の市民団体などの組織に寄付し、環境保全活動や地域貢献活動などの取組みに役立てていただいております。